

アテムコ社の高熱伝導性接着剤

アテムコボンド 805

「アテムコボンド 805」はアメリカのアテムコプロダクツ社が開発した新タイプの高熱伝導性エポキシ接着剤で、耐熱上限は300℃と高く、接着性にも優れ、ポリイミド、プラスチックの混合物、ガラス、セラミックス、膨張率の高い金属などの接着に威力を発揮します。

特性

「アテムコボンド 805」の熱伝導性は1.8W/m・K、絶縁性は1.97kV/mm、引張り強度は1,800 psi、熱膨張係数は 45×10^{-6} cm/cm/°Cです。

適用例としては、ヒートシンク、熱交換器のフィン、射出成型用モールドや高熱作業時の治具などに使用されています。硬化後は穴あけ、タップ、磨きなどの機械加工もできます。

使い方

「アテムコボンド 805」は2液混合型です。重量比でベースBと硬化剤Aを100:12の割合で混合します。ポットライフは1時間以内(@25℃)です。冬場などに粘度が高くなっている場合は、30℃位に温めてから混合すると均一に混ざります。

塗布した後、硬化させるには、38℃で24時間保温後、93℃で2時間焼成します。

荷姿

1パイント（約500ml）と1クォート（約1リットル）の広口缶入り。（いずれもベースと硬化剤を合わせた総量です。）

